

学校名 白岡町立篠津中学校  
 所在地 白岡町大字篠津2617  
 電話 0480-92-1508

## 1 本校の概要

昭和22年開校の本校は、生徒数414名、各学年4クラスの中規模校である。当時の文部省の研究指定を契機に白岡町教育情報通信ネットワークシステムが平成11年9月に完成したのは、積極的に学校図書館の学習情報センター化を図ってきた。また、平成14年度よりは「朝の一斉読書」を実施し、読書指導にも力を注いでいる。

## 2 本校の実践の概要

### (1) 本校の実践の特色

本校では、読書活動推進のねらいを、生徒一人一人の読書習慣の確立と情報活用能力の育成の両面においている。

### (2) 読書習慣の確立をめざした取組

読書に関する全校指導の実施(年度当初)  
 朝の一斉読書の実施(週4日)  
 学級文庫の整備  
 授業による読書推進(国語科)

・読書教材等による学習

・読書記録(記録表の書き方指導及び評価)

・読書紹介(POP作り、ブックトーク等)

POPとは推薦図書カードのこと

図書委員会活動による読書推進



・読書紹介(委員会だより、POP、読書集会等)

読書センターとしての図書室整備等

・「心に残る『子どもの本』100選」のコーナー設置



・生徒が作成したPOP等の掲示

・新着図書コーナーの設置

・学校図書館管理システムによる読書案内



### (3) 情報活用能力の育成をめざした取組



調べ学習の推進

・総合的な学習の時間での調査活動

・社会科授業での統計資料の活用等

学習情報センターとしての図書室整備等

・図書室利用案内作成と利用指導

・調べ学習用の資料整備(百科事典、統計資料、国語辞典等、事典・辞典類を複数セット)

・ファイル資料コーナーの設置(パンフレット、新聞記事、生徒作品等)



・教科別資料コーナーの設置(国語、社会、数学、理科、英語、特活、総合)

・地域資料コーナーの設置(埼玉県関係資料、白岡町関係資料)

・学校図書館管理システムによる資料検索

## 3 成果と今後の課題

「朝の一斉読書」の実施により、中学生になると一気に増える不読者は見られなくなった。始業前に、落ち着いて本を読む生徒の姿が当たり前になり、職員による評価結果も好ましいものになっている。また、授業での取組や委員会活動によって生徒たちの読書意欲が一層喚起され、総合的な学習の時間の取組を中心に情報活用としての読書活動も深まってきている。

今後は、公共図書館との連携を深めることや、図書ボランティアの活用にも目を向け、生徒たちの読書力を一層向上させたいと考える。